

第 8 回 役 員 会 議 事 要 録

- 1 日 時 平成 23 年 7 月 4 日 (月) 13:30～14:27
- 2 場 所 本部棟 2 階 「学長室」
- 3 出席者 4 人 (田中雄三学長, 西園芳信理事, 山下一夫理事, 清水勇行理事)
- 4 陪席者 16 人 (草下 實副学長, 大石雅章副学長, 賀川昌明副学長,
石塚 等経営企画本部長, 各課長等)

5 議 題

(1) 平成 24 年度入学式及び学位記授与式の実施日について

学長及び企画総務課長から, 資料 1 「平成 24 年度入学式及び学位記授与式の実施日について (案)」に基づき, 平成 24 年度の入学式実施日を平成 24 年 4 月 5 日 (木), 学位記授与式実施日を平成 25 年 3 月 18 日 (月) とする旨, 提案説明があり, 審議の結果, これを承認した。

(2) その他

1) 「平成 22 事業年度に係る業務の実績に関する報告書」の修正について

企画総務課長から, 文部科学省に提出済みの「平成 22 事業年度に係る業務の実績に関する報告書」のうち, 平成 22 年 3 月卒業者の教員就職率に言及した箇所について, 本日, 文部科学省から「平成 21 年度の取組に対する成果であって, 平成 22 年度の実績ではないのではないか。」との問い合わせがあった旨の報告があり, 審議の結果, 今後, 字句を一部修正の上, 学長の決裁を得た修正版を提出することとした。

6 報告事項

(1) 徳島県立鳴門渦潮高等学校との高大連携について

企画総務課長から, 平成 24 年 4 月に開校する徳島県立鳴門渦潮高等学校の体育科と本学の生活・健康系コース (保健体育) との高大連携について, 徳島県教育委員会との間で連携協定を締結する方向で検討を進めていること, 連携事業としては, 本学から高校生向けへの公開授業や出張授業等の実施を予定しており, 協定締結後に連携推進のための協議会を設置し, 具体的な検討を行うこと, 協定案については, 教育研究評議会で審議する旨, 報告があった。

(2) 大学院定員充足に係る各コース等と学長の面談結果について

学長及び賀川副学長から, 大学院定員充足に係る各専攻・コースの取組状況等について, 学長, 山下理事, 賀川副学長が各専攻・コースの教員との間で意見交

換等を行った旨の報告があった。主な意見は次のとおりである。

- ①長期履修学生の教育支援体制の充実
- ②実験のための教室及び器具等設備の充実（技術・工業・情報）
- ③国際教育コースにおける院生室の確保
- ④女性教員・学生のための保育施設の検討
- ⑤他大学訪問及びウェブページの充実等
- ⑥カリキュラムの検討（教育実践フィールド研究）
- ⑦同窓会組織の活用

なお、本件については、概要をとりまとめ、7月13日（水）開催の教育研究評議会に報告する旨、併せて説明があった。

(3) 宮城教育大学教育復興支援センターでの支援について

学長から、資料2「宮城教育大学教育復興支援センター」に基づき、6月23日（木）に開催された「平成23年度全国国立教育系大学学長・事務局長会議」において、宮城教育大学より教育復興支援センター構想に関する説明があり、本学としても、小学校英語活動、予防教育科学等による支援を行う方向で検討を進めるよう各センターに検討を依頼するとともに、全学体制で取り組む旨、報告があった。

(4) その他

西園理事及び経営企画本部長から、資料3「平成24年度特別経費（プロジェクト分）概算要求事項の概要『教員養成モデルカリキュラムの発展的研究』」に基づき、6月28日（火）に行われた平成24年度概算要求事項の打合せにおいて、文部科学省から、全国の教員養成系大学で共有できるものとなるよう他大学との連携を含めて推進してほしいとの助言を受けた旨、報告があった。

また、本日、文部科学省から、本事業を「2年」から「3年」に延長してはどうかとの意見が出され、これを受け本事業を3年計画に改めることが了承された。